



小野中学校だより
第 7 号
文責：校長 大河原久宗
2018. 6. 15. FRI

TEL:72-3355 FAX:72-2829

<教育目標>

- 【夢～自立・友愛・健康】
- ・課題を持ち、進んで学ぶ生徒
 - ・互いのよさを認め、高めあう生徒
 - ・健康で、心身を鍛える生徒



来週 6/21(木)は「期末テスト」

もう一度見直そう！授業と家庭学習

期末テストに向けて計画通りに勉強が進められていますか。努力していますか。目標を決めて頑張っていますか。「鉄は熱いうちに打て！」

テスト勉強は、『家庭学習』です。家庭学習の大切さを見直してみましょう。



『家庭学習』とは

1 宿題 2 復習 3 予習

学習事項を自分のものにするには、何回それにあたるかで左右されます。それゆえ、宿題・復習は、その日の学習の理解を深める大切なものです。予習は、次の授業で、自分にとって何がわからないのかを明確にするものです。予習をしておけば、授業のねらいもはっきりとわかり、印象に残るものです。宿題・復習に時間をかけ、予習は少しでいいでしょう。学習時間は、1年生は1時間20分以上、2年生は1時間40分以上、3年生は2時間以上<小野町版家庭学習スタンダードより>ですが、テスト前くらいはそれぞれ「プラス1時間」はしたいものです。学習内容の定着には、第一には、『授業』ではないでしょうか。何と言っても、1時間、1時間の授業の積み重ねは重要です。しっかり頑張りましょう。

ベネッセ教育情報サイトからテスト対策！

◎ 中1生のかた必見！ はじめての定期テスト必勝大作戦

中1生にとって、間もなくはじめての中間テストが近づいてくる時期。小学校時代にはなかったテスト勉強をどのように進めたらいいのか、迷っている人もいるかもしれません。そこで、今回の記事では、はじめての定期テストに向けてやるべきことをご紹介します。しっかり読んで好成绩を狙いましょう！



★ 【対策編】教科書の読み直し、問題の解き直し、重要事項の暗記に取り組もう！

定期テストの対策としてやるべきことは、大きく分けて3つあります。それは「教科書の読み直し」「教科書の問題やワーク、プリントの解き直し」「重要事項の暗記」です。

3つの中で最も重要なのは「教科書の読み直し」です。テストは基本的に教科書から出題されます。太字で書かれている部分を中心にさっと目を通すだけではなく、すみずみまでよく読み込むことがポイントです。本文だけでなく、欄外の解説などもよく読んでおきましょう。英語や国語の場合、音読をすると知識が定着します。また、数学の場合は例題を解いておくことも忘れずに。教科書を読んだだけで理解できないことがあったら、授業ノートを見直しましょう。

次に「教科書の問題やワーク、プリントの解き直し」を行います。解き直しするときは、以前に間違えた問題や、前は解けたけど忘れかけている問題を中心に復習しましょう。

教科書の内容が理解できるようになったら「重要事項の暗記」にとりかかります。英単語の暗記、漢字の書き取りのほか、理科や社会の重要語句もしっかり覚えましょう。

【計画編】「やることリスト」をつくって、計画表に書き込んでいこう

テスト勉強を成功させるカギは、計画を立てること。5教科のテストの場合、遅くとも1週間前からテスト勉強に取り組みましょう。1週間前になったら、テスト範囲を確認し、上の【対策編】でご紹介した3つの勉強を参考にしながら、「やることリスト」をつくりまします。全教科のリストができたなら、計画表に書きこんでいきましょう。計画表には「19:00～20:00 国語」と教科名だけ書くのではなく、「教科書の18ページから24ページまで音読する」というように具体的に記入しましょう。



また、がんばって計画を立てても思うように進まないことがあります。そのような場合でも徹夜は絶対にしないこと！ 一晩でできることは限られていますし、健康にもよくありません。計画倒れを防ぐためにも、あらかじめ土日に予備の勉強時間を予定しておくとういでしょう。

【テスト返却時】定期テストはニガテ発見のチャンス。しっかり復習を！

定期テストが返ってきたら、どうしても点数だけに注目してしまいがち。でも、「点数だけ見て、あとはほったらかし」ではいけません。定期テストは、今まで習った範囲の中にニガテが隠れていないかを知るための絶好のチャンスです。間違えた問題はしっかり復習するようにしましょう。ニガテをなくすことが、次の定期テストの対策にもなります。がんばって復習しましょう！

◎ ラストスパートで点数アップ！ テスト当日の勉強法

★ 「思い出す」勉強をしよう

教科書のテスト範囲を読み返すだけでも対策にはなりますが、それ以上に効果的なのがテスト形式の勉強をすることです。テスト形式といっても、問題集を解く必要はありません。単語帳を使ったり、家族に問題を出してもらったり、蛍光ペンを使って教科書を穴埋めにしたたりして、「思い出す」作業を取り入れるだけでOKです。単に読むよりも、記憶を呼び起こす勉強をした方が実際のテストで思い出しやすくなる効果があるとされています。こうした勉強法なら通学の電車内など、当日のちょっとした時間にも取り入れられるはずです。



★ 声に出して確認しよう

暗記したい大事な用語は、できるだけ声に出して確認しましょう。朝から声に出して勉強することで、目が覚め、脳が活性化する効果も期待できます。また、教科書や参考書を読む際は、重要な用語を声に出しながらノートに手書きすることでも記憶しやすくなります。

★ 友だちと問題を出し合おう

空き時間に友だちと問題を出し合ってクイズ形式で復習しましょう。楽しみながら勉強できますし、友だちがテストに出そうだと思っているポイントも確認できます。前述の「思い出す」勉強をすることによる効果も期待できます。

★ 前夜にしっかりと睡眠をとることが鉄則

テスト当日に十分に力を発揮するためには、夜更かしせず、しっかりと睡眠をとるのが鉄則。睡眠不足のボンヤリとした状態では、せっかくのテスト勉強の努力が報われません。同じく、当日の朝、ギリギリまで寝ていると十分に頭が働きませんから早起きを心がけましょう。テスト対策が不十分で、どうしても勉強したい場合は、夜更かしするより、朝早く起きて勉強をする方がベターです。



そのようにして万全のコンディションをととのえてこそ、ラストスパートの対策が生きてくるのです。

ベネッセ教育情報サイト: <http://benesse.jp/kyouiku/test/> 【教育→テスト対策】より